



■ 卯月 (1日はエイプリルフール／嘘とウソ)

卯月という名の由来は「卯の花の咲く季節」ということで、小紙一昨年4月号([JKR0304](#))に卯の花について触れています。

しかし卯月の由来はほかにもいろいろあるようで、十二支の4番目が卯であることから4月の名前になったとの説もあるとのこと、今年卯年の卯月を迎えたこととなります。

4月1日はエイプリルフール、世界的にウソについてもよい日となっているようです。ただ、これは言論が自由で社会が安定している国においてのみ通じる話です。政権を批判するようなことを言えば、「それはウソだった」と言っても許されない国もあります。そのような国ではエイプリルフールそのものが存在しません。

「メディアは毎日嘘をついている。」と国民から揶揄されているようですが……。

また、いくら言論の自由がある国とはいえ、その嘘によって相手を傷つけたり、経済的な損害を与えたりすればこれは犯罪となります。

ユーモアに溢れ、機知に富んだウソ、騙されても笑い飛ばせるようなウソは、嘘には含まれないでしょう。誰かそのようなウソで私たちを楽しませてもらえませんか。

現在、世界は極めて不安定な状況にある中、毎日フェイクに溢れているようです。

ロシア・ウクライナの戦争の発端もフェイクからでしょう。事態が長引くにつれ最初のフェイクに矛盾をきたして次々と嘘をつき続けなければならない状況となっていると思います。

アメリカではトランプ前大統領が次の大統領選出馬を目指してか、メディアへの露出度が高まっているようです。人の言うことすべてをフェイクと切り捨ててしまうこと自体が嘘ではないのでしょうか。

私たちの身近なところでは「オレオレ詐欺」。最近、嘘が通じなくなってきたのか、暴力的になってきているのが気になるようです。

しかし、世の中には騙される方も悪いという立場に立つ人もいます。要は、私たち一人ひとりが判断に足るしっかりとした情報を持っていることが大切です。何かの時には相談できる相手がいればなお心強いものです。

暖かくなってきました。コロナも落ち着きを見せてきたようです。戸外に出て大いに活動し人との交流を楽しみましょう。



■ 活動報告「Online 会合(3/28)」

WBC 優勝の余韻が残る中、Online 会合の表紙もこのようになりました。



報告は <http://jvc-senior.com/20230328online.pdf> 参照

この報告の中で、宮田さんのパルスジェットエンジンの燃焼実験を「良い子はやらないように」と書きましたが、本人からは「シニアはいつまでも好奇心を持って…」と書いてほしかったとのコメントがあったことをここに追記しておきます。

■ H3ロケット打ち上げ失敗⇒チャットGPT

先月号で「H3ロケット打ち上げは失敗か中断か、とチャット GPT に問うた」と書きましたが、3月7日の打ち上げは第2段ロケットが点火せず明らかな失敗で、今回は改めて聞くまでもありません。

ところで、チャットGPTは皆さん活用していますか。「パルスジェットエンジン模型の作り方を教えて」と問うたところ、「危険なのでそんなことしないように…」というのが回答でした。

それが、上述の「良い子はやらないように…」となった次第です。質問者が子供と思われてしまったかもしれません。AIは質問相手を見ているようで、もっと専門的な言葉を使って質問をすれば回答は違っていたかもしれません。

■ フランスの年金法案改定でデモ

現在、フランスでは大規模なストライキや抗議デモが繰り返されて、家庭のゴミ回収がなされぬまま道路上にそれがあふれていたり、ルーブル美術館が閉館されたりと、社会生活に大きな影響が出ていることが報道されています。

マクロン政権がフランス憲法49条3項の特例規定で年金法案を強行採決したことにより、「民主主義が否定された！」というのが理由です。政権信頼の基に成り立つ特例規定ですが、現政権への不満が爆発してデモもエスカレートしています。

年金支給開始年齢を現行62歳から64歳に引上げるという内容の法案ですが、街でのインタビューの様子を見ると、反対理由は「民主主義云々」より「定年を早く迎えて一刻も早く仕事から解放されたい」ということで、「仕事より個人の自由」を大切にすフランス人の本音が現れているようです。

■ 英国のEU離脱の反省 ⇒ TPP加盟

2016年、英国はEU内での自由とEU法による制約(特定分野においては自国法より優先される)とを天秤にかけ、EU残留・離脱を問う国民投票を実施、結果は当時の首相の思惑に反して離脱票が多数となり、首相は辞任に追いやられました。

EUの恩恵がどこまで自分のものになっているか知らなかった国民が多かったようで、安易に国民投票を実施すべきではないことを示した結果でした。

以降、正式離脱となる2020年までの間、英国内では離脱をめぐる混乱が続き、当初“ブレグジット”を喜んだ人々も、最近は“ブレグレット”なる新しい言葉も生まれて、離脱を反省する人々が多くなっているようでした。

今回、英国はTPPへの加入が認められ、7月調印の予定となりました。環太平洋諸国で始まったTPPに



ユーラシア大陸の向こう側からの参加で、このパートナーシップの枠が大きく広がることになります。

台湾や中国も加盟申請をしており、今後どのようにして加盟が認められていくのか分かりませんが、まずはトランプ政権時代に離脱した米国の復帰を願うところです。しかし米国は反省しているの？

■ 北欧諸国のNATO加盟

話は一転、NATOはスウェーデンに続きフィンランドの加盟も認めることになりました。ロシアにしてみると自ら仕掛けたウクライナ侵攻でNATOが拡大して、すぐ隣迄迫って来ることになりました。

これ、ロシア大統領にしてみると全くの思惑違いでしょうが、こちらは反省していますかね。

■ 事務局から

☆ 春闘が終盤を迎えており、大手企業では満額回答が示されたところが多いように思います。

JAM傘下では中小企業も多く、大手の様にはいかないところもあって苦労しているところもあります。

JVCケンウッド労組は3月27日に会社に要求書を提出した段階で、日程は世間とは周回遅れの感ですが、今後の交渉結果を見守りましょう。

☆ 今月は統一地方選でJAMは各地で組織内候補の支援をしています。横須賀市では伊関功滋議員が再選を期しています。健闘を祈るとともに地元の皆様はご支援ください。事務局長 田代 周